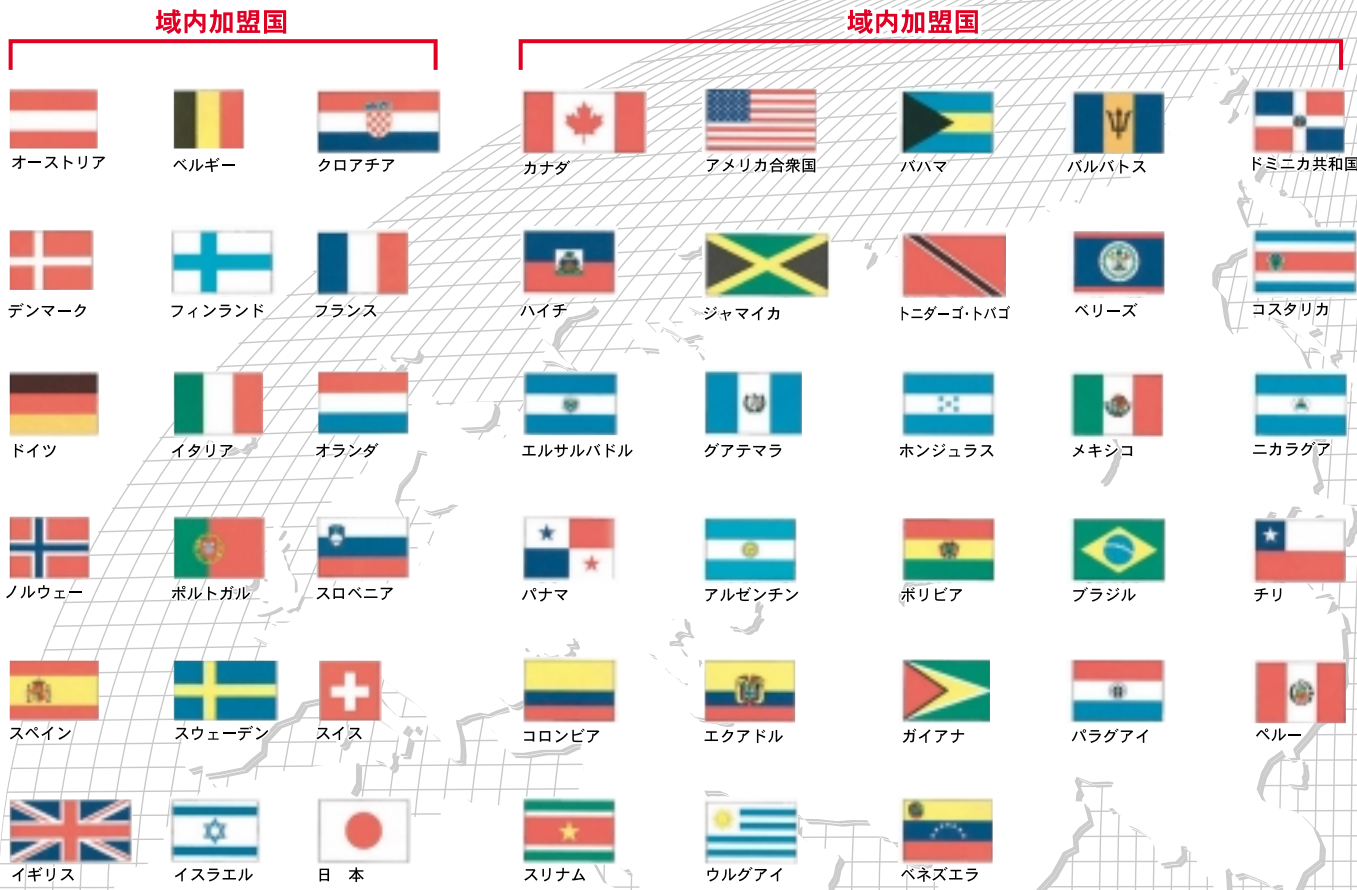




IDB-IIC
ANNUAL MEETING OF
THE BOARDS OF GOVERNORS
OKINAWA 2005



特集1 IDB沖縄年次総会を 成功させよう!

来年4月、世界最大級の国際会議が、いよいよここ沖縄で開催されます。

IDB 沖縄総会

開催期日：平成17年4月10日(日)～12日(火)
開催場所：沖縄コンベンションセンター
宜野湾市立体育館
ラグナガーデンホテル等
参加予定人数：数千名

IDB (米州開発銀行) 年次総会とは?

毎年加盟国内の都市で行われ、米州域内の経済開発に関する意見交換を行うとともに、IDBの重要事項について意思決定を行うことを目的として開催されます。世界四十六カ国から財務担当大臣や中央銀行総裁等数千名が参加する、規模・質ともに世界でも有数の国際会議です。

主に金融関係者を対象にしたコンベンションであり、IMF・世界銀行総会に次ぐ大型のコンベンションです。

IDBとは?

設立の経緯

IDBは、一九五九年に中南米の国々の経済・社会発展を進める目的で設立されました。本部はワシントンにあり、最大で最も長い歴史を持つ国際地域開発金融機関で、ラテンアメリカ・カリブ海諸国向け多国籍貸付の最も主要な資金源です。

役割

借入加盟国の開発政策策定を手助けし、経済・社会開発プロジェクト、地域及び地域内統合、国家・制度改革を行うための資金と技術援助を提供しています。

日本の参加

日本は、十九世紀にまでさかのぼる移民の歴史に伴う社会・経済的な結びつきや、拡大し続けるラテンアメリカ・カリブ海諸国との経済関係を背景に、一九七六年に正式加盟しました(ラテンアメリカ・カリブ海諸国は、現在二二〇万人以上にも上る日系移民社会を有しています)。

日本政府は、IDBに資金を拠出して参加するとともに、総務会と理事会に代表を派遣しています。

沖縄開催の意義

沖縄県はこれまで世界中に移民を送り出してきていますが、中でもラテンアメリカに対しては、ブラジルの十三万人、ペルーの五万六千人、アルゼンチンの二万二千人等に表れているように、中南米と沖縄の関係は深く、中南米諸国を援助対象地域とするIDBの総会を沖縄で開催する意義は深いものといえます。

IDB総会への県の取組み

沖縄開催の経緯

沖縄県は、二〇〇〇年七月の「九州・沖縄サミット首脳会合(G8サミット)」開催を契機に、国との連携の下、「コンベンション・アイランド」形成を図るべく、各種国際会議等の沖縄誘致・開催に取り組んでいます。

県は地元経済界とともに、財務省、内閣府及び関係機関・団体等の協力を得て、第四十六回IDB年次総会の誘致活動に取り組み、その結果、平成十五年三月二十六日、IDBミッド総会において沖縄開催が正式に決定されました。

沖縄開催実行委員会を組織

平成十五年八月十八日には、「第四十六回IDB年次総会沖縄開催実行委員会(会長「稲嶺恵一沖縄県知事」)が発足され、県、市町村、沖縄観光コンベンションビューロー、経済団体を網羅して組織し、総会の成功に向けて官民一体となり準備を進めています。

特集1
IDB沖縄年次総会を成功させよう!



オープニングセレモニーでのテープカット



沖縄PRブースについて
 沖縄PRブースでは、IDBペルー総会参加者へ次回開催地である「沖縄」の魅力についてPRするため、ペルー総会会場内に設置されました。
 ブースでは、ペルー沖縄県人会のボランティアによる琉装コンパニオンが参加者に泡盛を振る舞い、沖縄の観光やコンベンション情報を

を映像やパンフレットで紹介し、総会参加者で大変賑わいました。
 オープニングセレモニーにおいても県人会の全面的な協力により琉球舞踊が披露され、獅子舞の演舞が続くと大きな人垣が出来、会場は大いに盛り上がりました。
 総会参加者からもかなりの反響があり、次回開催地沖縄を十分にPRすることが出来たと確信しています。



沖縄PRブースで泡盛を試飲する参加者



第45回IDBペルー年次総会 沖縄派遣団レポート

沖縄PR成功をささえた南米県系移住者の沖縄開催成功への熱い期待

国立博物館を総会会場に

平成十六年三月二十九日から三十一日にかけて、ペルー共和国リマ市で第四十五回IDBペルー年次総会が開催されました。
 リマ市内にある国立博物館をIDB年次総会用に改装し、多くの会議室やプレスセンター、レストランなどの施設がコンバクトに作られていました。
 入口でのセキュリティチェックを通り抜けると、沖縄PRブースやペルー観光案内ブースが総会参加者を待ち受けています。また、会議の他にも沖縄県知事主催レセプション等のように楽しいイベントも多数行われており、イベントスケジュールを見ながら、会場内を移動します。
 会場内では、ボランティアスタッフが、エレベーター操作に始まり会場案内と活躍し、明るい笑顔で、いきいきと参加者との交流を楽しんでいました。
 来年の沖縄でもウチナースマイルで総会参加者をお迎えしたいと思います。

参加者を歓迎するイベント

IDB年次総会は、会議のみが行われるわけではありません。総会へ出席する会議参加者はもちろんのこと、多くの同伴者(夫人・子供)も訪れるため、開催地では多くの無料イベント(ツアーやレセプション)を用意し、皆が楽しめるよう、工夫を凝らしています。
 ペルーで行われたイベントの一例が「カントリーランチ付きペルー民族祭り」です。これは野外でペルー料理を味わいながら、ペルーの民族芸能を堪能するというもので、会場では、お面やカラフルなコスチュームを身にまとったペルー独特の鬼ダンスと音楽隊の演奏の歓迎を受けました。



イベント会場に到着した総会参加者を伝統芸能で歓迎

さらに、ウェルカムドリンクとして「ヒスコサワー」(ペルーの有名なアルコール入飲料)が振る舞われ、その後はペルー料理をバイキング形式で自由にいただくながら、民族舞踊や音楽とともに楽しいひとときを過ごしました。
 さて、IDB沖縄総会では世界四十六カ国から来県される総会参加者及び同伴者をどのようなイベントで歓迎することができるのでしょうか。沖縄自慢の歌や踊り、料理にはじまり、伝統工芸の数々と観光スポット。IDB総会の開催を機に初めて来県される外国の方も多いため、一人でも多くの沖縄ファンを獲得するべく、沖縄らしさを全面に出したイベントを企画します。



ペルーの観光名所をめぐるツアー



会場となったペルー国立博物館

国際観光コンベンションアイランドを目指して、 県民の温かいもてなしの心と協力で 沖縄年次総会を成功させよう!

●募金活動が本格始動!

二月十二日、IDB沖縄開催実行委員会募金部会の発会式において、実行委員会会長の稲嶺知事は「IDB沖縄総会を成功させることは、非常に大きなインパクトを与え、世界に沖縄を強くPRするとともに、コンベンションアイランドとしての沖縄の高い評価につながる」とIDB総会成功の意義を強調し、関係者に対し協力を求めました。

IDB沖縄総会開催にあたり、ホスト国が負担する経費は約十億円です。

そのうち、約四億五千万円を開催地である沖縄側で負担します。その半分を県が負担し、残りの半分を関係市町村の負担金と民間からの寄付金で賄う予定です。特に県内外の民間に対して二億円の寄付をお願いする募金活動は、IDB沖縄総会の成功を



●可愛がってください! IDB沖縄年次総会のロゴマーク!

IDB沖縄総会のロゴマークは、沖縄の守り神である「シーサー」に決定しました! ロゴマークにはアジアの中にある沖縄で行われる会議であることが一目で分かるよう表現されています。シーサーから発せられる気炎は、IDB(米州開発銀行)の活動の中心である南北アメリカ大陸をかたどっているとともに、力強い沖縄パワーをも表しています。

また、シーサーには沖縄年次総会の成功を見守ってくれるよう、願いが込められています。

PRのためにたくさんの皆様に可愛がって頂きたいと思いますが、使用方法などにつきましては取扱規定を設けています。詳しくは実行委員会までお問い合わせください。



●7月にIDBセミナー沖縄にて開催

沖縄年次総会のプレイベントとして、県民向けセミナーが七月に開催されます。

高校生向けセミナー
ラテンアメリカ経済やIDBについて講義を行うとともに、異文化体験発表を通して、ラテンアメリカへの理解を深めてもらうのが目的です。

・期日:平成十六年七月十四日(水) 午後予定
・会場:沖縄コンベンションセンター 一般向けセミナー
多くの移民を輩出している沖縄で、ラテンアメリカの移民についての研究発表を行い、IDB及びラテンアメリカへの関心を高めてもらうことが目的です。

・期日:平成十六年七月十六日(金) 午後予定
・会場:県庁舎四階講堂
セミナーへの参加は無料です。県民の皆様、どうぞふるって参加ください!

左右する非常に重要な活動で、募金部会の果たすべき役割は非常に大きいと言えます。

募金部会は、実行委員会から委嘱された十三の県内主要経済団体のメンバーで構成されています。

また、実行委員会では、更に強力に募金活動を推進するため、募金部会員の派遣団体の長に稲嶺知事を加えた十四人を推進委員に委嘱し、募金活動を積極的に展開することになっています。

ご寄付		
企業・団体	沖縄特定免税店(株)	300万円
	沖縄電力(株)	3,000万円
	ダイキンオーキッドパウンティ募金	100万円
	琉球放送(株)	100万円
	りゅうせきネットワーク会議	300万円
個人	上原清善氏	500万円
	募金合計 (5/18現在)	4,300万円

物品等のご提供		
車両(無償貸与)	沖縄県レンタカー協会	2台
	さーたーあんだぎー	1,200個
泡盛	沖縄県物産公社	5升
	沖縄県酒造組合連合会	36着
かりゆしウエア	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合	15升
	伊是名酒造、瑞泉酒造、忠孝酒造	

ご協力ありがとうございました

●ボランティア募集

IDB沖縄開催実行委員会では、二〇〇五年一月から、IDB総会ならびに関連事業の運営に必要な語学ボランティア及び一般ボランティアの募集を行います。

二〇〇〇年に開催された「九州・沖縄サミット」は、通訳・接遇・環境美化など、たくさんのウチナー・ボランティアの惜しみない協力があって、成功させることができたものです。中南米を中心に世界四十六カ国から約五千人が訪れる世界最大級の国際会議であるIDB年次総会の運営も、大勢の皆様のご協力が必要です。

熱い感動の出会いへ向けて、再びとも走りましょう!

●IDB沖縄総会ホームページ

世界四十六カ国から来県する総会参加者へ向けての沖縄情報を満載したホームページを公開中です。

日本語、英語、スペイン語の三カ国語で展開しており、沖縄年次総会の開催される平成十七年四月へ向けて、イベントスケジュールや事務局からのお知らせなど、さらに内容を充実させていきます。是非、ご覧ください!



ホームページアドレス <http://www.idb-okinawa2005.jp/>



上原清善氏からの寄付金贈呈



ペルー総会における受付ボランティア



ペルー県人会による琉装ボランティア

●IDB年次総会 沖縄開催実行委員会



会長 稲嶺知事

(沖縄県知事)

去る3月に第45回米州開発銀行年次総会がペルー国リマ市にて開催されました。これでいよいよ次は沖縄総会ということになります。IDB総会は質・量ともに世界最大級の国際会議であり、この総会の成功は「コンベンションアイランド」を推進する本県にとって、大規模な国際会議が開催できることを世界に実証する絶好の機会であり、将来の展望へ向けての大きなステップになると確信しています。

開催まで一年を切りました。IDB 沖縄年次総会により多くの方々が参加して頂けるよう情報発信を続けるとともに、沖縄の豊かな自然や独自の文化・風土・芸能等の魅力が十分に伝わりますよう、総会の成功へ向けてしっかりと取り組んでいく所存でございます。

IDB 沖縄年次総会への県民の皆様温かいご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

昨年八月に実行委員会が発足して以来、組織も強化されており、二〇〇四年四月末時点で、実行委員会の構成団体は五十二団体に達し、日本経団連会長をはじめとする顧問は九名、参加は二名となっております。

スタッフは現在三十一名となっております。県、市、沖縄観光コンベンションビューロー及び民間会社からの出向等により構成されていて、文字どおり「官民一体」となっており、来月四月に開催されるIDB 沖縄年次総会の準備を行っています。

総会期間中に行われる会議の設営や運営がスムーズにいくよう、参加者の宿泊、輸送、警備などの整備を行い、県民向けの交流イベントや協賛イベントの企画・開催、総会参加者向けの観光ツアーや体験プログラムの企画等を行っています。



副会長 松本

(沖縄観光コンベンションビューロー会長)

「IDB 沖縄総会は、今後沖縄がコンベンション市場に参画できるかどうかの試金石になっていく」



副会長 小禄

(沖縄懇話会代表幹事)

「IDB 総会が沖縄を世界に知らしめる大きな節目になる。私も一生懸命皆様とともに、汗をかいて頑張りたい」



副会長 仲井真

(沖縄県商工会議所連合会会長)

「沖縄年次総会の沖縄開催は、県経済界にとって非常に重要なもの、県経済界も総力を挙げて取り組んでいきたい」

第46回米州開発銀行「IDB」年次総会
沖縄実行委員会の組織図



お問い合わせ先

〒901-0152

那覇市字小禄 1831-1

沖縄産業支援センター(316号室)

TEL.098-859-8639

FAX.098-859-8640

